学校番号	327

令和８年度　国際教養科（国際文化科）

教科	国際文化科	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	National Geographic Cengage Learning TIME ZONES3 Third Edition						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ネイティブの先生と行う授業なので、普段よりも積極的に英語を話しましょう。間違いを恐れずとりあえず話すことが英語を話す上で上達する近道です。
・ライティングに関しては、自分の知っている単語や表現を使って分かりやすく書くことが大切です。また、たくさん英語を書くことは表現を豊かにします。先生のチェックの後、間違った部分をしっかり見直しましょう。そうすることで正しい表現を身につけることができます。
・わからないことがあれば恥ずかしがらずに質問しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学習を通して言語知識に加え、外国の文化や世界が抱える問題についての知識・理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・学習した語彙や文法、表現を使って情報を理解したり、伝えたいことを表現したりできる。
【学びに向かう力、人間性等】
・英語を使って積極的に自分の意見や考えを表現しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	各学期にスピーチ・スキット・プレゼンテーションを行う。また普段の授業においてネイティブの先生に対して積極的に話しているかにより判断を行う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Unit1～5	Unit1 Unit2 Unit3 Unit4 Unit5	a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。 b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。 c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
2学期	Unit6～10	Unit6 Unit7 Unit8 Unit9 Unit10	a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。 b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。 c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
3学期	Unit11～13	Unit11 Unit12 Unit13	a：学習した語彙、文法、表現を理解することがで、目的や場面に応じて適切に活用できる。 b:日常的な話題について、学習した語句、文法、表現を用いて書いたり話したりできる。 c:積極的に授業に参加し、自信を持って会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度